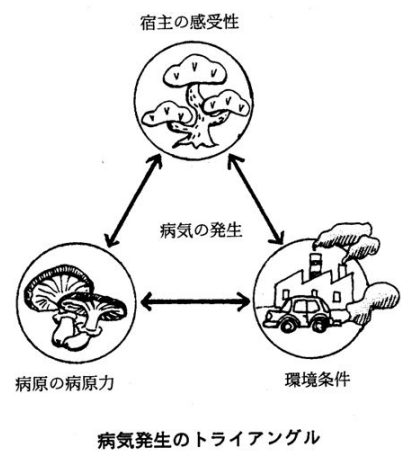


1 樹病の発生と環境の関わり

環境園芸学部 環境園芸学科 准教授 日高 英二

講座要旨

樹木の病気あるいは病的現象は絶え間ない刺激によって生ずる機能不全の現象と定義されています。病気すなわち機能不全の現象を引き起こすものは、刺激あるいはストレスで、生物的ストレスと非生物的ストレスに分けられます。生物的ストレスは病原生物で微生物、植物、動物などの生物を指し、非生物的ストレスは樹木の生育する環境要因そのもので気象環境(温度、水分、光、大気など)と土壌環境に大別されます。樹木は自然環境下で生育するため、様々な環境因子がお互いに関係を持ちながら作用しており、病気の発生は樹木の感受性 - 病原の病原性 - 好適環境の三者の関係で引き起こされます。本講座では樹病(樹木の機能不全)を引き起こす様々な要因について解説を行います。



材腐朽による倒木

履 歴

- 1964年1月 宮崎県出身
- 1986年3月 宮崎大学 農学部林学科 卒業
- 1986年4月 国土防災株式会社入社
- 1990年4月 南九州大学 園芸学部造園学科 副手
- 1991年4月 南九州大学 園芸学部造園学科 助手
- 1994年4月 南九州大学 園芸学部造園学科 専任講師
- 2005年4月 南九州大学 環境造園学部造園学科 助教授

南九州大学  
担当科目

樹木学 樹木医学 測量学 , 測量学実習 ,